令和5年度 宮城第一高等学校 「志教育」年間指導計画 (普通科1~3年)

•	3つの視点	かかわる	もとめ	るはたす		かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる はたす		かかわる	もとめる	はたす		
	国語	0	Ω	10/29	地理歴史	0	02070	0	公民	O	2270	<u> </u>	数学		0	理科		O	0		
各教科坛	国語感覚を磨いション能力を高め 考力や創造力を な言語能力を養	ミュニー	., 思	宮城県や東北を基界の形成の歴史的の地域的特色にで を深めることで、E	り過程と いての 本及し 社会人	±生活・)理解と 『国際さ	及び世 文化 認識 社会に	現代社会の諸課題について主体的に			事象を数学的!たてて考え,表	現する	でし、筋道を る能力を高	自然科学に対する原理・法則を 理解し、実験・観察を通して探 究心を高め、現代社会の基盤と なっている科学技術の発展に対 応できる資質を養う。							
指導	保健体育		0		芸術	00			外国語 〇 〇			家庭	0	0	情報 〇〇						
標	心と体を一体としたわたって心身 進し豊かなスポするための課題 の状況に応じてるための資質・f	の健! 一ツラ を発! 体力(康を保 ライフで 見し、 の向 」	持増 を継続 自己 上を図	多様な表現の引きを 記を陶冶し、自立 ではないではない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	他の感 を養 や諸を かまを か、長く	性を う。また ト国へ 芸術を	受容 -, 鑑 の文	英語の学習を通して、我が国や 外国の生活や文化に対する関心 を深め、多様なものの見方や考 え方を理解させるとともに、自ら の考えを英語で適切に表現でき る能力を養う。				家庭生活の重 深め、実践的・ 動を通して、様 し、よりよい社会 主体的に家庭・ 創造する資質・	体験的 々なが その構 や地域	内な探究活 人々と協働 青築に向け, 成の生活を	変化の早い情報社会を生きるために、これからの社会で必要とるれる知識・技能を習得しながら、正しい情報を活用・発信できる思考力と判断力を育てる。					
	Ē	学年	共道			かかわる	もとめる	はたす					各学年	指導	目標						
	①自主性の	育成	;			0	0		1				的な学習態度 習慣を確立し,								
.	②自律性の	涵養				0	0		年	③自	己の!	興味·	や関心に基づ	いて	進路目標を	設定する。					
指導	③学習時間	の確	保				0	0	2	①授業中心の学習遂行と意欲的かつ自律的な学習姿勢と身につける。 ②学校行事で責任ある参加等を通じ、中堅学年としての自覚を持つ。											
内容	④マナーの[句上				0		0	年	③志望学部や大学研究とオープンキャンパス等への積極的参加を通じ、 進路希望を明確にする。											
	⑤進路意識	の高	揚			0		0	3	①自己の能力適性の把握に努め、進路を決定する。 ②克服すべき諸課題に計画的に取り組み、進路目標の達成を図る。											
									年				ての自覚と諸								
	- 1	指導	内容	\$					ねらい				指導教科	·等	実施時期	時数	かかわる	もとめる	はたす		
	基礎学力の定着度 ついて把握[スタデ		智習慣	・学習方法等)に				学習状況の結果から。 て学習改善につなげる		は向けた	-教材	特別活動		4月	4	0	0				
	オリエンテーション・国数英ガイダンス・進路講話						国数英における主体的な学習態度の育成と基礎学力の向上を図る。 学校生活を有意義に過ごすため方法を学ぶ。							動	4月	4	0	0			
1年	探究活動(総合的な探究の時間)							ける基礎! そ高める。	的なスキルを学び、適切	刀な課題	設定や様	々な	総合的な探究の	時間	通年	35	0	0			
	校内歌合戦の)準備	と発	表					惑を養い, コミュニケー: 習を行う。	ションや「	青報共有	能力を	特別活動		6~7月	10	0	0	0		
	進路講演会					師の話を て再検討		望校に合格するための	の学習計	画や学習	方法	特別活動		9月	1	0	0				
	進路講話					進路達	成のため	の流れ	を理解し、学習習慣の	指す。		特別活動		4月	1	0	0				
	探究活動(総	合的	な探	究の時	持間)		た課題に 意義を学		グループで研究し、そ	れを発表	する経験	から	総合的な探究の	時間	通年	35	0	0	0		
2	校内歌合戦の)準備	おと発	表					感を養い、コミュニケーションや情報共有能力を と習を行う。				特別活動		6~7月	10		0	0		
	研修旅行(台)	湾研	修・関	西研	修)	大学や企業等を訪問することで、見聞を広げ、将来の目標を得る。							特別活動		12月	28	0	0	0		
	進路講話					進路達	成のため	に具体	的な目標を定める。				特別活動		4月	1	0	0			
	志望履修書作	成						とや社会	き貢献のあり方について 。	、自分0	り考えを	きとめ	特別活動		7月	3		0			
3 年	探究活動(総合的な探究の時間)						た課題に意義を学		グループで研究し、それを発表する経験から			から	総合的な探究の	時間	通年	35	0	0	0		
	校内歌合戦の	を発	表					惑を養い、コミュニケーションや情報共有能力を 習を行う。			特別活動		6~7月	10		0	0				
															合計時数	177]				

令和5年度 宮城第一高等学校「志教育」年間指導計画 (理数科3年)

3	つの視点	かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめ	るはたす		かかわる	もとめる はたす		かかわる	もとめる	はたす		
	国語	0	0		地理歴史	_		0	公民	0		0	数学		0	理科		0	0		
各教科指							程と生え ての理解 及び国際	舌・文 解と認 際社会	考察させ、理解を 人間としての在り 自覚を育て、良識	き察させ、理解を深めさせるとともに、				現する	し、筋道を る能力を高 み能力を育	自然科学に対する原理・法則を 理解し、実験・観察を通して探 究心を高め、現代社会の基盤 なっている科学技術の発展に対 応できる資質を養う。					
導目	保健体育 心と体を一体と にわたって心身 進し豊かなスポ 続するための この状況に応し 図るための 資質	康を保 ライフを 発見し 力の向	持増 継 , 自]上を	する資質や能 賞を通して日本 化的教養を深	他の原力を養いた諸ない。 大や諸なり、長い	感性を う。また 外国へ く芸術	受容 た 鑑 の文	外国語 英語の学習を近外国の生活やい心を深め、多様 考え方を理解 らの考えを養う きる能力を養う	対す)の見 とも	国や る関 力や に, 自		の社会 を習得 5用・発	を生きるた 会で必要とさ 导しながら, 修信できる								
	<u> </u>	学年	共通	į		かかわる	もとめる	はたす					各学年	指導	目標						
	①自主性の	育成	ζ			0	0		1							ዾ力の充実を図 遺境を維持する					
4 ⊢.	②自律性の	涵養	Ę			0	0		年				も頃を確立し、 や関心に基づ				0				
指導内	③学習時間						0	0	2 年	①授業中心の学習遂行と意欲的かつ自律的な学習姿勢と身につける。 ②学校行事で責任ある参加等を通じ、中堅学年としての自覚を持つ。 ③志望学部や大学研究とオープンキャンパス等への積極的参加を通じ、											
容	④マナーの					0		0		進路	希望	を明確	確にする。								
	⑤進路意識	の高	「揚 ——			0		0	3 年	②克	服す	べき		的に	取り組み、	にする。 進路目標の達 指導性を発揮・		図る。			
指導内容									ねらい				指導教科	等	実施時期	時数	かかわる	もとめる	はたす		
1 年																					
2 年																					
	進路講話					進路達	成のため	た具体	的な目標を定める。				特別活動		4月	1	0	0			
3	志望履修書作成							とや社会	ま貢献のあり方につい。 。	て、自分	の考え	きまとめ	特別活動		7月	3		0			
年	探究活動(総合的な探究の時間)						た課題に		グループで研究し、そ	れを発	長する紅	圣験から	総合的な探究の)時間	通年	35	0	0	0		
	校内歌合戦の	帯と発	表					感を養い, コミュニケー 学習を行う。	ションや	情報#	有能力	特別活動		6~7月	10		0	0			
						•									合計時数	49					

令和5年度 宮城第一高等学校「志教育」年間指導計画 (国際探究科1・2年)

3	つの視点	かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめるはたす		かかわる	もとめる	はたす		
	国語	0	0		地理歴史	0		0	公民	0		0	数学		0	理科		0	0		
	言語感覚を磨いてコミュニケー 宮城県や東北をション能力を高めるともに、思 世界の形成の歴 代の地域的特色 旅言語能力を養う。 常子 では、 一次の では、						程と生え ての理解 及び国際	活・文 解と認 際社会	考察させ、理解を深めさせるとともに、				事象を数学的に たてて考え、表 め、判断力と問 てる。	現する	能力を高	自然科学に対する原理・法則を 理解し、実験・観察を通して探 究心を高め、現代社会の基盤と なっている科学技術の発展に対 応できる資質を養う。					
各教	保健体育	0	0		芸術	00			外国語	0	0		家庭	0	0	情報	0	0			
科指導口		Pの健康 ペーツラ 果題を じて体 2	東を保 イフを 発見し カの向	持増 継 自 上を		他の思力を養べや諸のも、長の	感性を う。また 外国へ く芸術	受容 た, 鑑 、の文	英語の学習を近外国の生活や元のを深め、多様 考え方を理解さらの考えを英語 きる能力を養う	文化に なもの せると で適	対する)の見 ともに	5関 方や 二,自	家庭生活の重要 深め、実践的・動を通して、様し、よりよい社会 主体的に家庭・ 創造する資質・	体験的 々なノ 会の構 や地域	りな探究活 く々と協働 いいでは、 はの生活を	変化の早い情 めに、これから れる知識・技能 正しい情報を活 思考力と判断に	の社会 を習得 用・発	で必要しなが	要とさ がら,		
													<i>₽</i> 24 F−	+ヒ.2							
		学年				かかわる	もとめる	はたす					各学年								
	①自主性の	育成				0	0		1 年				的な学習態度 習慣を確立し、								
指	②自律性の	涵養				0	0		#)			:や関心に基づいて進路目標を設定する。								
導	③学習時間の確保						0	0	2 年	①授業中心の学習遂行と意欲的かつ自律的な学習姿勢と身につける。 ②学校行事で責任ある参加等を通じ、中堅学年としての自覚を持つ。 ③志望学部や大学研究とオープンキャンパス等への積極的参加を通じ、											
内容	④マナーの				0		0	#				スチザガミオ・ 確にする。									
	⑤進路意識	揚			0		0	3 年													
	-	指導	内容						ねらい	-			指導教科	· 等	実施時期	時数	かかわる	もとめる	はたす		
		度と学習	引力(学		(・学習方法等)に				学習状況の結果から, て学習改善につなげる		服に向け	た教材	特別活動		4月	4	0	0			
	オリエンテーション・国数英ガイダンス・進路講話								な学習態度の育成とも ごすため方法を学ぶ。	礎学力	の向上を	図る。	授業·特別活	動	4月	4	0	0			
1 年	探究活動(総合的な探究の時間)							ける基礎的 と高める。	内なスキルを学び、適	切な課題	設定や	様々な	総合的な探究の	時間	通年	70	0	0			
	校内歌合戦の準備と発表								惑を養い, コミュニケー 学習を行う。	ションや	情報共有	有能力	特別活動		6~7月	10	0	0	0		
	進路講演会						を聞き、 させる。	望校に合格するため	の学習記	十画や学	習方法	特別活動		9月	1	0	0				
	進路講話				進路達	成のため	りの流れ	を理解し,学習習慣の	確立を	目指す。		特別活動		4月	1	0	0				
	探究活動(国	際探	究)				た課題に意義を学		グループで研究し、そ	れを発	長する経	験から	国際探究		通年	70	0	0	0		
2 年	校内歌合戦の	の準備	と発	表					惑を養い, コミュニケー 学習を行う。	ションや	情報共有	有能力	特別活動		6~7月	10		0	0		
	研修旅行(オーストラリア研修)						企業等を	お問す	ることで、見聞を広げ、	将来の	目標を得	る。	特別活動		12月	40	0	0	0		
3																					
年																					
															会計時 数	210					

令和5年度 宮城第一高等学校「志教育」年間指導計画 (理数探究科1・2年)

3	つの視点	かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる	はたす		かかわる	もとめる はたす		かかわる	もとめる	はたす		
	国語	0	0		地理歴史	0		0	公民	0		0	数学		0	理科		0	0		
	言語感覚を磨l ション能力を高 考力や創造力で な言語能力を養	ともに	,思 合的	宮城県や東北をま世界の形成の歴化の地域的特色は識を深めることでに主体的に貢献で要な自覚と資質を	史的過 こつい , 日本』 する社会	程と生活 ての理解 及び国際	舌・文 解と認 祭社会	考察させ、理解を深めさせるとともに、				事象を数学的に たてて考え、表 め、判断力と問 てる。	現する	能力を高	自然科学に対する原理・法則を 理解し、実験・観察を通して探 究心を高め、現代社会の基盤と なっている科学技術の発展に対 応できる資質を養う。						
各教	保健体育	0	0		芸術	0	0		外国語	0	0		家庭	0	0	情報	0	0			
科指	進し豊かなスポ 続するための調 己の状況に応じ	己を陶冶し、自他の感性を受容する資質や能力を養う。また、鑑賞を通して日本や諸外国への文化的教養を深め、長く芸術を愛			考え方を理解させるとともに、自 らの考えを英語で適切に表現で きる能力を養う			家庭生活の重要深め、実践的・付動を通して、様し、よりよい社会とす。 主体的に家庭や創造する資質・	体験的 々な人 その構 さ地切	か探究活 、々と協働 築に向け, の生活を	変化の早い情報社会を生きるために、これからの社会で必要とされる知識・技能を習得しながら、正しい情報を活用・発信できる思考力と判断力を育てる。										
-			共通	<u>l</u>		かかわる	もとめる	はたす					各学年	指導	目標						
	①自主性の	育成	:			0	0		1	①自主的主体的な学習態度の育成と基礎学力の充実を図る。 ②基本的生活習慣を確立し望ましい学習環境を維持する。											
指	②自律性の	-			0	0		年	③自己の興味や関心に基づいて進路目標を設定する。												
導	③学習時間	の確	保				0	0	2	②学	校行	事です	学習遂行と意欲的かつ自律的な学習姿勢と身につける。 責任ある参加等を通じ、中堅学年としての自覚を持つ。								
内容	④マナーの				0		0	年	③志望学部や大学研究とオープンキャンパス等への積極的参加を通じ, 進路希望を明確にする。												
	⑤進路意識	揚			©		0	3 年													
	<u> </u>	指導	内容	ξ					ねらい				指導教科	指導教科等 実施時期 時数 かかわる もとめる はたす							
	基礎学力の定着原	度と学習	引力(学		・学習方法等)に				学習状況の結果から, て学習改善につなげる		服に向け	た教材	特別活動		4月	4	0	0			
	ついて把握[スタディサポート] オリエンテーション・国数英ガイダンス・進路講話						における	主体的机	で子目以告にうない。 は学習態度の育成と基 ごすため方法を学ぶ。		の向上を	図る。	授業•特別活	動	4月	4	0	0			
1 年	探究活動(総合的な探究の時間)						動におけ		内なスキルを学び、適	切な課題	設定や	様々な	総合的な探究の	時間	通年	70	0	0			
	校内歌合戦の準備と発表								惑を養い, コミュニケー 学習を行う。	ションや	情報共和	有能力	特別活動		6~7月	10	0	0	0		
	進路講演会					師の話を て再検討		望校に合格するため	の学習記	十画や学	習方法	特別活動		9月	1						
	進路講話					進路達	成のため	の流れ	を理解し、学習習慣の	確立を目	指す。		特別活動		4月	1	0	0			
	探究活動(理	数探	究)				た課題に意義を学		グループで研究し、そ	れを発表	長する経	験から	理数探究		通年	70	0	0	0		
2 年	校内歌合戦の	り準備	を発	表					惑を養い, コミュニケー 学習を行う。	ションや	情報共和	有能力	特別活動		6~7月	10		0	0		
	研修旅行(オーストラリア研修)						企業等を	訪問する	ることで、見聞を広げ、	将来の	目標を得	る。	特別活動		12月	40	0	0	0		
3																					
年																					
															合計時数	210					